

平成30年度九州大学病院群 臨床研修医募集要項

九州大学病院臨床教育研修センター

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1

TEL 092-642-5221, 5223 FAX092-642-5219

E-mail:kenshu-c@jk.med.kyushu-u.ac.jp

九州大学病院(以下「本院」という。)を基幹型臨床研修病院とする臨床研修病院群での臨床研修プログラムは平成16年4月から施行された新医師臨床研修制度に基づいて作成されました。

2年間の研修を通じ、臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療知識・技術の習得だけでなく、医師として求められる人格をも形成するシステムとなっています。

I・研修プログラムの特徴について	P 1
II・研修終了後の主な進路	P 1
III・研修内容について	P 2
IV・募集プログラムについて	P 3
V・臨床研修病院について	P 4
VI・待遇等	P 6
VII・募集・採用方法について	P 6
VIII・よくあるご質問	P 7

I・研修プログラムの特徴について

1. 九州大学病院と協力型臨床研修病院(市中病院)の特色を生かした研修

協力病院－九大病院プログラムでは、2年間の研修期間のうち1年目は研修協力病院(市中病院)で、2年目は九大病院で研修します。

これにより、大学病院での「深く考える研修」と市中病院での「頻度の多い疾患を多く経験する研修」の両立を可能にします。

九大病院総合プログラム、九大病院小児科プログラム、九大病院産科婦人科プログラムでは、本院のみで診療科をローテーションしますので、一つの病院で腰を据えた研修が出来ます。

2. 自由度の高い研修を保障

本院での1年目の研修は必修科目の中で研修医自身が選んだ診療科で研修できます。

また、2年目の選択科の研修では、研修医の希望する診療科で研修できます。

3. 研修終了後の専門領域の場を保障

研修プログラムの終了後も、さらなる専門領域での研修の場を保障いたします。

本院はもとより、多くの協力病院と提携して、医師としてより専門的に研修する場を提供いたします。

4. 充実した臨床研修施設

本プログラムの研修施設は、本院と研修協力病院、地域医療機関などが一体となった臨床研修病院群で構成されます。

5. 臨床教育研修センター

本プログラムの管理・運営は、臨床教育研修センターが研修医の希望を考慮して行います。

II・研修終了後の主な進路

2年間の臨床研修プログラムの終了後、希望の医局へ入局して専門医を目指す診療科コースと研究を行い学位を目指す大学院コースなどがあります。九大病院で入局をお考えの方は、上記コースへシームレスに移行可能な九大病院での初期研修をお勧めします。

Ⅲ・研修内容について

当研修プログラムでは、厚生労働省が示した新医師臨床研修制度の「臨床研修の到達目標」に準拠した研修を実施します。

研修内容（小児科・産科婦人科プログラムは除く）

科目	研修期間	研修内容
内科(必修)	6ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 本院では、総合診療科、第一内科(血液・腫瘍内科、免疫・膠原病・感染症内科)、第二内科(消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科)、第三内科(内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科)、心療内科、神経内科、循環器内科、呼吸器科、の8診療科から、1科を選択し2ヶ月研修。さらに上記診療科に放射線科、皮膚科を加えた10診療科から1科または2科を選択し2ヶ月または4ヶ月研修する。 研修協力病院での研修は、頻度の多い疾患を中心とした症例を数多く経験することを主な目的とする。
救急(必修)	3ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 1年目九大病院で研修するプログラムでは、九大病院の救命救急センターで研修する。(希望により1ヶ月を協力病院で研修することができる。) 1年目協力病院で研修するプログラムでは、協力病院で3ヶ月研修する。
選択(必修)	3ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 外科系、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科のうち2科を選択し1ヶ月あるいは2ヶ月研修する。 ※外科系・・・第一外科(消化管外科(1)、胆・膵・腎移植外科等)、第二外科(消化管外科(2)、肝・脾・門脈等)、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科
地域医療(必修)	1ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 研修テーマにより、市中協力病院、介護老人施設、診療所等にて研修する。
選択科目	11ヶ月	<ul style="list-style-type: none"> 本院では、総合診療科、第一内科(血液・腫瘍内科、免疫・膠原病・感染症内科)、第二内科(消化管内科、腎・高血圧・脳血管内科)、第三内科(内分泌代謝・糖尿病内科、肝臓・膵臓・胆道内科)、心療内科、神経内科、循環器内科、呼吸器科、産科婦人科、小児科、放射線科、皮膚科、先端分子・細胞治療科、第一外科(消化管外科(1)、胆・膵・腎移植外科等)、第二外科(消化管外科(2)、肝・脾・門脈等)、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、小児外科、泌尿器・前立腺・腎臓・副腎外科、形成外科、精神科神経科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、救命救急センター、麻酔科蘇生科、病理部から選択し研修する。

IV・募集プログラムについて

募集定員 合計69名(予定)

○九大病院－協力病院プログラム

1年目は九大病院で研修を行い、2年目は協力病院（市中病院）で研修します。

年次	1年次			2年次		
定員 (2名)	内科6ヶ月 (九大病院)	救急3ヶ月 (九大病院)	選択必修3ヶ月 (九大病院)	選択11ヶ月 (協力病院)	地域医療 1ヶ月	

*1年次の救急は希望により1ヶ月を協力病院で研修することができる。

○協力病院－九大病院プログラム

1年目は協力病院（市中病院）でプライマリ・ケア等の経験が積めます。

2年目は九大病院で研修しますので、入局先を見据えることが出来ます。

年次	1年次			2年次		
定員 (46名)	内科6ヶ月 (協力病院)	救急3ヶ月 (協力病院)	選択3ヶ月 (協力病院)	選択必修3ヶ月 (九大病院)	選択8ヶ月 (九大病院)	地域医療 1ヶ月

○九大病院総合プログラム

2年間九大病院で研修するプログラムですので、2年間一つの病院で腰を据えた研修が出来ます。

年次	1年次			2年次		
定員 (17名)	内科6ヶ月 (九大病院)	救急3ヶ月 (九大病院)	選択必修3ヶ月 (九大病院)	選択11ヶ月 (九大病院)	地域医療 1ヶ月	

*1年次の救急は希望により1ヶ月を協力病院で研修することができる。

○九大病院小児科プログラム

小児科に重点を置いたプログラムで、2年次にはP I C Uで研修することが可能です。

2年次の選択期間（7ヶ月）では全診療科から研修科を選択出来ます。

年次	1年次				2年次		
定員 (2名)	内科6ヶ月 (九大病院)	救急3ヶ月 (九大病院)	選択必修1ヶ月 (九大病院)	小児科2ヶ月 (九大病院)	小児科4ヶ月 (九大病院)	選択7ヶ月 (九大病院)	地域医療 1ヶ月

*1年次の救急は希望により1ヶ月を協力病院で研修することができる。

*2年次の小児科(4ヶ月)の研修中にPICUでの研修を1～2ヶ月組み込むことが可能です。

○九大病院産科婦人科プログラム

産科婦人科に重点を置いたプログラムです。

2年次の選択期間（9ヶ月）では全診療科から研修科を選択出来ます。

年次	1年次				2年次		
定員 (2名)	内科6ヶ月 (九大病院)	救急3ヶ月 (九大病院)	選択必修1ヶ月 (九大病院)	産科婦人科2ヶ月 (九大病院)	産科婦人科2ヶ月 (九大病院)	選択9ヶ月 (九大病院)	地域医療 1ヶ月

*1年次の救急は希望により1ヶ月を協力病院で研修することができる

V・臨床研修病院について ※()内の数字は平成28年度受け入れ定員数

○ 協力病院－九大病院プログラム <定員46名> 35病院

1年目＝協力型臨床研修病院（内科＝6月、救急＝3月、選択＝3月）

1年目

- ・浜の町病院（2名）
- ・福岡市民病院（2名）
- ・福岡赤十字病院（2名）
- ・九州中央病院（2名）
- ・白十字病院（2名）
- ・九州病院（4名）
- ・福岡東医療センター（4名）
- ・製鉄記念八幡病院（4名）
- ・聖マリア病院（2名）
- ・佐賀県医療センター好生館（4名）
- ・北九州市立医療センター（5名）
- ・下関市立市民病院（2名）
- ・山口赤十字病院（3名）
- ・唐津赤十字病院（3名）
- ・大分赤十字病院（3名）
- ・広島赤十字・原爆病院（3名）
- ・松山赤十字病院（2名）
- ・別府医療センター（3名）
- ・大分県立病院（2名）
- ・県立宮崎病院（3名）
- ・佐世保共済病院（2名）
- ・中津市立中津市民病院（2名）
- ・田川市立病院（2名）
- ・小倉医療センター（2名）
- ・九州労災病院（2名）
- ・医療法人 原三信病院（2名）
- ・国家公務員共済組合連合会 千早病院（3名）
- ・国家公務員共済組合連合会 新小倉病院（1名）
- ・医療法人佐田厚生会 佐田病院（2名）
- ・済生会 二日市病院（2名）
- ・済生会 唐津病院（1名）
- ・社会保険 小倉記念病院（1名）
- ・宗像医師会病院（1名）
- ・社会保険 仲原病院（1名）

2年目＝九州大学病院（選択必修＝3月、選択＝8月、地域医療＝1月）

○ 九大-協力病院プログラム <定員2名> 13病院

1年目=九州大学病院（内科=6月、救急=3月、選択必修=3月）

2年目=協力型臨床研修病院（地域医療=1月、選択=11月）

- ・福岡市民病院（2名）
- ・済生会福岡総合病院（1名）
- ・九州医療センター（2名）
- ・聖マリア病院（2名）
- ・佐賀県医療センター好生館（1名）
- ・北九州市立医療センター（3名）
- ・下関市立市民病院（2名）
- ・広島赤十字・原爆病院（2名）
- ・松山赤十字病院（2名）
- ・大分県立病院（2名）
- ・県立宮崎病院（3名）
- ・飯塚病院（予定）

○ 九大病院総合プログラム <定員17> 1病院

1年目=九州大学病院（内科=6月、救急=3月、選択必修=3月）

2年目=九州大学病院（選択=11月、地域医療=1月）

○ 九大病院小児科プログラム <定員2> 1病院

1年目=九州大学病院（内科=6月、救急=3月、選択必修=1月、小児科=2月）

2年目=九州大学病院（小児科=2月、小児救急=2月、選択=7月、地域医療=1月）

○ 九大病院産科婦人科プログラム <定員2> 1病院

1年目=九州大学病院（内科=6月、救急=3月、選択必修=1月、産科婦人科=2月）

2年目=九州大学病院（産科婦人科=2月、選択=9月、地域医療=1月）

VI・待遇等

- 待遇等：
 - ・身分:研修医
 - ・日額単価 9,951円
 - ・通勤手当 月額5,000円(最大)
 - ・研修手当 月額90,000円
(月額 約290,000円)
 - ・勤務時間 始業時間8時30分 終業時間17時15分

*協力病院の待遇等は各病院にお問い合わせください。

VII・募集・採用方法について

- 募集定員：
 - ・69名(臨床研修病院群全体として予定)
- 採用方式：
 - ・マッチングシステム(組合せ決定制)による。
 - ・本病院群では、面接および筆記試験(診療に必要な基礎的知識および考え方を問う。)を行い、採用希望順位を決める。出身大学は、採否の基準とならない。しかし、協力病院の選択、及び院内の研修を希望する診療科での人数が超過した場合、円滑に研修が行えるようにするため、人数の調整をすることがある。その際、採用試験の成績を参考とする。
- 対象者：
 - ・平成30年第112回医師国家試験を受験する者
 - ・平成29年以前に医師国家試験に合格している者
- 選考日：
 - ・平成29年8月27日(日)
- 選考会場：
 - ・九州大学 病院(馬出)キャンパス
- 応募書類：
 - ・履歴書
 - ・受験票返信用封筒:定形封筒長3(12×23.5 cm)に出願者本人の宛名を記入し、82円切手を貼り付けたもの。

郵送する場合は、応募書類を一括して封筒に入れ、表面に「研修医応募書類在中」と朱書きし、必ず簡易書留にて送ること。

- 応募締め切り：平成29年6月30日(金)必着

- 応募及び問い合わせ先：
 - 〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号
 - 九州大学病院臨床教育研修センター
 - tel(092)642-5221 fax(092)642-5219
 - e-mail; kenshu-c@jk.med.kyushu-u.ac.jp

VIII・よくあるご質問（初期研修について）

- 九大出身者と他大学出身者の比率は？
近年、九大出身者は1/3以下、他大学出身者が2/3以上となっています。

- 他大学出身者でも九大出身者と同じように研修できますか？
研修内容に差はありません。

- 九大病院内の選択診療科・協力病院はどのようにして決めますか？
希望に基づき決定します。
定員以上の希望者があった場合は、選考試験の成績を参考に決定します。

- 初期研修修了後の進路は？
九州大学病院で入局（後期研修）、他病院、大学院進学です。

- 当直の回数は？
診療科によりますが、月0～4回程度です。

- 研修医の男女の比率は？
現在九大病院の研修医の男女比は、およそ男性6割、女性4割です。

- 30代の研修医はいますか？
現在九大病院研修中の研修医（協力病院研修中は除く）の約1割が30代です。

- 研修医宿舎はありますか？
研修医（歯科研修医を含む）の宿舎が15部屋あります。
ただ、希望者多数の場合など、入居できないこともあります。